

# 浄青神奈川

大本山光明寺御法主戸松啓眞台下御染筆

神奈川浄青機関紙

第 24 号

発行日 1997年6月1日

発行人 塩澤智彦



## これからの 浄青に期待すること

第十八代神奈川教区教区長 森 爽海

### 一・青年僧が担った終戦直後の教区

昭和二十一年、生き残りの学徒兵がボツダム少尉となって復員し、教区書記となって当時おつかえした教区長（教務所長）は、若冠三十九才の柴田敏夫上人（港北組蓮勝寺ご先代）であった。更に参事・团长・理事・議長等、何れも柴田上人と同年代の方々であり、いわば三、四十代の青年僧によって教区が支えられ運営されていたのである。従って当然のことながら常に、教区には熱気が充満していたのである。

今にして想えばこうした三、四十代の青年僧が、教区のトップとして活躍できたかには、それを育てた豊かな土壌があった筈である。その

土壌を醸したものは先輩住職方の「多少の行過ぎやミスがあっても後進を育成」しようとする若者に教区を托した広い抱擁力であった。

翻って現今の教区はどうか。一時よりは違ってきてはいるものの、依然として高齢支配である。他教区はどうかとみると全国教区長、団長会に出てみても若い人が多くなっているし、増上寺圏の十八教区でも圧倒的に若返ってきている。この点、本教区でも思い切った教区、各組役職の若返りを考慮する時期ではなからうか。それには、かつてのように先輩住職方の後進のために道を広げる度量と、青年僧の大きい自覚と

### 奮起が絶対条件である。 二・青年僧よ乱世に視野を

間もなく二十一世紀、国際化・高齢化・イノベーション・ニーズの多様化等激動の時代、佛教界も当然この激動の中に立たされる。すでに核家族化による家庭崩壊の波は、檀家制度にも影響を及ぼそうとしている。人々の祖先崇拜や霊魂に対する観念も次第に薄くなっている。

かつては、寺院主導であった葬儀も葬祭業者の手に移り、その形態もさまざまに変じつつあり、僧侶の一部にはこうした業者の手代になり下った者もある仕末。こうした商業ベースや形骸化した葬儀にいや氣した民衆は、独自のスタイルをもとめ、僧侶ぬきの「おわかれ会」や山や海への散骨、果てはロケツト葬なども現れている。

従来守り続けられて来た概念や通念が根本から覆えされようとしているのが、この世紀末である。この既存概念や常識が崩れ去る時代は、ある意味では乱世である。この乱世にあなた方は佛教界を背負い、法然イズムをかかげて、寺を護持していかなければならないのだ。もはや従来通りの安逸さでは通らない時代。

もつと市民に理解され、親しみやすい佛教に変えていく必要がある。一、二の例を挙げてみれば、施餓鬼

会や十夜会の表白だ。たしかに古典としては名文であるが、あれで参詣者が理解出来たら不思議。私は昨年の十夜会から口語体の表白に代えたところ、檀徒から「よく解つて有難い」と好評であった。又、今の若い世帯に「つけとどけ」は理解できないようなので、檀家にはメンバーズ・カードを作り、メンバーズ・カード（護寺費）を納めて貰うようにしている。

以上は、新しい試みに過ぎないが、この乱世に青年僧として新しい感覚をフルに活かして、遅く寺院経営に当たっていただきたい。

### 三・青年僧よ愛語施を

今時の若者は、屈託がなく仲々しいていいのだが、どうもメリ・ハリのあるコミュニケーションができないようだ。お互いもうだが、先輩に逢つたら、「こんにちは」ぐらい最低限の挨拶を忘れないでほしい。他人に明るく、人より先に言葉がけする。実はこれ、教化の第一歩の愛語施、あなたの若さと明るい愛語で、多くの人々に生きる力を与えて下さい。

以上、塩澤会長からもとめられるままに本音を書きました。どうか真意をおくみとり下さい。これからはあなた方の時代です。精一杯のご精進をお祈りします。

# 組 事 業 計 画



お問い合わせは各組担当者まで

8 <sup>ch</sup> 高座組	10 <sup>ch</sup> 鎌倉組	12 <sup>ch</sup> 三浦組	BS7 <sup>ch</sup> 中郡組	BS11 <sup>ch</sup> 小田原組
お問い合わせ 事務局 渋谷聡明 TEL 0462-54-5365	お問い合わせ 事務局 成田善俊 TEL 0468-41-3623	お問い合わせ 会長 吉水祥史 TEL 0468-88-3013	お問い合わせ 会長 吉永英之 TEL 0463-58-2149	お問い合わせ 会長 田辺裕誠 TEL 0465-68-5161
ゴルフ (18日)	引声一泊研修会 (16~17日)			
	引声研修会(上旬) 引声研修会(下旬)		ボーリング大会 (25日)	別時念仏会 (25日)
	引声研修会及び 暑気払い(上旬)	バーベキュー大会 (未定)		
暑気払い (8月下旬~9月上旬)			家族親睦会 (下旬)	
1泊研修会 (1~2日)	引声研修会 (中旬)		1泊研修会 (1~2日)	別時念仏会 (25日)
				別時念仏会 (25日)
	忘年会 (下旬)			別時念仏会 (25日)
忘年会(上旬)	法式研修会(上旬) 托鉢(中旬)	托鉢(未定) 忘年会(未定)	托鉢(上旬)	忘年会(上旬) 托鉢(23日)
			新年会(未定)	
				別時念仏会 (25日)
				別時念仏会 (25日)

# 平成9年度 神 浄 青 & 各

☆ 太字の事業は神浄青会員であればどなたでも参加できます。

1 <sub>ch</sub>	3 <sub>ch</sub>	4 <sub>ch</sub>	6 <sub>ch</sub>	月
<b>神 浄 青</b> お問い合わせ 事務局 山沢敦浩 TEL 045-861-1689	<b>京 浜 組</b> お問い合わせ 会 長 宮林雄彦 TEL 045-253-1243	<b>港 北 組</b> お問い合わせ 事務局 石川和弘 TEL 045-591-3653	<b>港 南 組</b> お問い合わせ 会 長 奥田昭應 TEL 045-771-6969	
定期総会(17日)			法式研修会 (18日)	4
	研 修(28日)	法式研修会 (5日)	布教研修会 (23日)	5
浄青神奈川発行(1日) 関プロ総会・研修会(19~20日)	研 修(25日)	港北・港南組 家族親睦会 (28日)	港南・港北組 家族親睦会 (28日)	6
大本山光明寺清掃奉仕(4日) 夏期僧堂手伝い(29~30日)			港南浄青発刊 (未定)	7
全浄中央研修会 (28~29日)	家族親睦会 (未定)			8
	研 修(未定)	法式研修会及び 暑氣払い (7日)		9
大本山光明寺清掃奉仕(9日) 大本山光明寺十夜手伝い(14日) 関プロソフトボール大会(9~10日) 第15回ソフトボール大会(上旬)	研 修(未定)		布教研修会 (未定)	10
	ふれあい DAY (未定)	法式研修会 (16日)	法式研修会及び 祝賀会1泊2日 (未定)	11
忘 年 会(中旬)	托 鉢(未定)	法式研修会及び 忘 年 会(14日)	法式研修会及び 忘 年 会(未定)	12
別時念佛会 (24日)	研 修(未定)	布教研修会 (18日)		1
他宗・教団見学 (中旬)	研 修(未定)		布教研修会 (未定)	2
写 仏 会 & ソフトバレーボール大会(中旬)	青年帰敬会 (未定)	家族親睦会 (上旬)		3

# 第24回関プロ總會 並研修会

第24回関プロ浄青總會並びに研修会が、6月18日〜19日に茨城教区担当で水戸プラザホテルにて開催された。総会では、平成7年度事業報告、会計報告に続いて会則の一部改正がなされた後、新理事長に千葉教区の山本上人が就任された。その後、平成8年度事業計画案、予算案が発表され承認された。

研修会は「和合」生きているいのち、生きかされるいのちというテーマのもと行なわれ、1日目は臨床医学神経内科の分野から2名の先生をお迎えし、脳死問題、遺伝子問題等のお話を聞き、命とは何なのかという事を真剣に考えさせられた。2日目はタレントのポール牧さんの講演があり、幼少期の寺での生活経験が御自身の人生に深く影響している事を得意の「指パッチン」を交えながら軽快なリズムで話された。

## ●会長コメント

遠く迄ご参加戴き、ありがとうございました。



みる  
この1年  
事業報告  
編



# 水泳大会

日時 9月30日  
場所 大磯プリンス室内プール



平成8年9月30日、大磯プリンスホテル屋内プールを会場に、浄青初めての企画「水泳大会」が開催されました。当日は、雨天にもかかわらず、多数の参加をいただき、参加者は皆、何かがおきる、何かハプニングがあるのではないかとという期待をもちつつ、京浜組7名、港北組7名、港南組8名、高座組5名、鎌倉組6名、三浦組7名、中郡組10名、小田原組4名、それに加えて東京浄青より4名、千葉浄青より7名の御賛同をいただきました。

## 神浄青水泳大会報告

競技種目及び上位の順位は次の通です。

### ★水中徒競争

- 一位 中郡組齊藤君
- 二位 鎌倉組中間君
- 三位 東京浄青田丸君

### ★ピート板バタ足競争

- 一位 東京浄青田丸君
- 二位 高座組藤本君
- 三位 京浜組加藤君

### ★借物競争

- 一位 東京浄青田丸君
- 二位 京浜組陣川君
- 三位 中郡組吉永君

### ★水中騎馬戦

- 一位 三浦組余郷・菊地・須田チーム
- 二位 東京浄青田丸・武智・清水チーム



待をもちつつ、京浜組7名、港北組7名、港南組8名、高座組5名、鎌倉組6名、三浦組7名、中郡組10名、小田原組4名、それに加えて東京浄青より4名、千葉浄青より7名の御賛同をいただきました。又、場所を移し心よい疲労の中で、表彰式を兼ねた懇親会が行なわれ、大きな事故もなく、大変に盛り上がった大会でした。

### ★平泳ぎ五十メートル

- 一位 東京浄青田丸君
- 二位 京浜組陣川君
- 三位 港南組奥田君

### ★クロール五十メートル

- 一位 東京浄青武智君
- 二位 高座組藤本君
- 三位 港北組大谷君

### ★百五十メートルリレー

- 一位 東京浄青田丸・武智・清水チーム
- 二位 三浦組余郷・山本・須田チーム
- 三位 京浜組陣川・加藤・水谷チーム

### ★総合得点順位

- 一位 東京浄青
- 二位 三浦組
- 三位 京浜組

### ●会長コメント

大変楽しい一時でした。



# 関ブロソフト

第14回関ブロソフトボール大会が10月28日～29日に開催された。

まず28日には、各教区代表による『二人羽織早食い大会』を行い、優勝者から好きなプロックを選択するという趣向を凝らしたソフトボール抽選会と懇親会を、長野ホテル犀北館にて行った。神奈川からは杉浦・曾我両氏が焼酎入り焼きそばに挑戦したが、悪戦苦闘していた。和やかな雰囲気の中でお開きとなり、各々明日の優勝を夢見ながら前祝いの二次会へと繰り出していった。翌29日はすばらしい秋晴れに恵まれ、犀川河川敷グラウンドにて記念撮影、開会式の後、試合が始まった。

今回神奈川からは18名の参加があり、東と西の2チームで熱戦が繰り広げられた。西(鎌倉・三浦・中郡・小田原)チームは、東京A・埼玉と戦い2敗してしまったが、9～12位決定戦において1勝し9位となった。

東(京浜・港北・港南・高座)チームは、栃木・長野Aと戦い打撃戦の末見事に2勝し、1～4位決定戦へと進んだ。もう一步で決勝というところで茨城に惜しくも負けてしまったが、3位決定戦で群馬を破り、堂々3位という輝かしい記録を残した。

試合終了後の閉会式では、今回優勝



で5連覇を達成した東京浄青に優勝カップと賞品が渡された。やはり東京浄青を破るのは神奈川しかないと思いつながら帰路についた。

次回大会では、優勝カップを持ち帰るぞ!! オウ。

●会長コメント  
来年は絶対優勝スルゾー、ウオウ

写真で  
塩澤会長の  
平成8年度  
前



## 神浄青ソフト

霊峰富士を臨み、鮎も棲むという清流、酒匂川に隣接したスポーツ広場を会場に「神浄青ソフトボール大会」が開催されました。

霜月も中旬、富士を臨めば新雪の景色、当日は寒気も予想されたが、晴天に恵まれたおかげか、体感温度はさほどではなかった。

開催セレモニも次第通り進み、二会場に分かれての試合開始となる。声からして声援する人、勝利をめざし闘志をたぎらせ必至にボールを追う姿など、人それぞれの様子がみえる。そんな中にも和気愛々とした親睦和合が伺える。試合も順調に進み、決勝進出チームは京浜、港北合同チームと中郡組。ご存知の方もいるだろうが、ここ数年この両チーム

の対戦には、何かと因縁がある。無事進んでくれればと思っていたがやはりやってくれました。ホームインをめぐり、あわや乱闘か? 数十分やりとりがあったが、そこは浄青。その後は前にも増して決勝戦らしい熱戦がくり広げられ、両軍善戦の結果、中郡組が念願の優勝を果たし、勝利の美酒に酔うことになった。

試合も無事終了、恒礼の懇親会へと移る。塩澤会長の挨拶に始まり、優勝チームへカップの贈呈、懇談となる。時間がたつにつれ、場も盛り上ってくる。今日の試合の事、会員同士の交流などそれぞれに輪が出来文字通りの和合・親睦がみられた。

付け加えれば、多くの若い会員の参加を見たことは、浄青の将来を良くき方向に導いてくれるものと感じた。さらに、今回奪って参加下されたOB諸師方にも、甚深なるお礼を申し上げ、無事盛会のうち進行できたことを各位に感謝申し上げます。

●会長のコメント  
小田原組 田辺裕誠

小田原浄青のみなさま大変ありがとうございました。

# 別時會

平成9年1月24日(金) 大本山光明寺大殿において毎年恒例の別時念仏会を行いました。今年のお別時初の試みと致しまして「六時礼讃」を行い朝9時の集合にもかかわらず神浄青会員32名(内OB2名)のご参加を頂きました。

当日は、各組で導師、役僧、維那、礼拝の役割をしてもらい各法要ごとに担当していただきました。「六時礼讃」をお唱えいただきました。日頃あまり「六時礼讃」をお唱えする機会



がないので大変いい勉強になったと思いますし、塩沢会長をはじめ浄青の皆さまに緊張感を感じられました。又「六時礼讃」以外に法式の講義をもちました。講師の先生は、浄土宗東京教区法儀司であられます福西賢兆上人をお迎えして『枕経の実際』についてご講義いただき大変為になるお話と実技をして下さいました。

今年度もまた「六時礼讃」のお別時を行いますので神浄青会員又OBの皆さまには多数のご参加戴けますようお願い申し上げます。

### ●会長コメント

一日中お念仏ができました、お疲れさまでした。

# 他宗教団見学

本年2月26・27の両日、天理教・弁天宗を見学参拝致しました。事前に財団法人国際宗教研究所研究員の弓山達也氏をお招きし勉強会を開いた功も奏し、大変ゆとりのある研修会になりました。以前にも天理教は参拝されたことがあるようですが、大半の最新宗教に影響を与えていると言われている程の教団ですから、



再び見学参拝するに足る研修会でした。特に両教団共に大変友好的に我々を歓迎頂けましたことには感謝の念にたえません。

何といましても天理教団の神殿の威容さには唯々目をみはるばかりに圧倒され、それ以上に信徒の方々の篤信さや「陽気ぐらし」の濃厚な対応に、この教団の素晴らしさがありました。神殿内は三千畳という広さで、朝勤め15分程に千から三千もの人が参拝し、各々が「おてふり」の所作をされていました。私共も実践いたしました。私共も実践いたしましたが、個々が自ら勤める空気に満ち溢れていました。宗教の垣根を超えて振り返れば当然かくあるべきと、一宗教者として意を新たにさせられる一時でした。

### ●会長コメント

他宗・教団には毎回驚かされることが多いです。OB・他教区のご参加ありがとうございます。



だみる  
この1年  
事業報告  
編



# 写仏会& ソフトバレーボール

去る3月14日、神淨青主催として初めての企画である写仏会&ソフトバレーボール大会が開催されました。

写仏会は、大本山光明寺に於いて午後3時より十数名の淨青会員が参加して行なわれました。ほとんどの会員が初めての体験ということで、なれない手つきで阿弥陀様の写仏を始めました。阿弥陀様のお姿が完成に近づくにつれ心がだんだん洗われるような気持ちになり、完成と同時に写仏を終えたという達成感と阿弥陀様のありがたさを感じ、とても清々しい気持ちにさせて頂きました。

又、午後6時より大本山光明寺から鎌倉市営体育館に場所を移し、29名の淨青会員が参加し、ソフトバレーボール大会が行なわれました。ルールは六人制ルールで3人1チームの計10チームによるトーナメント方式で行なわれました。今回のソフトバレーボールでは、より親睦も深めて頂く為に

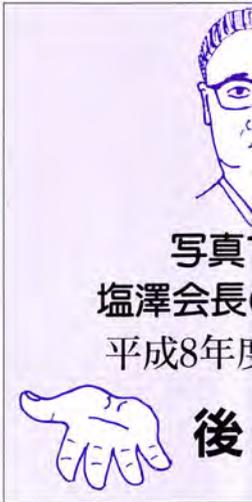
各組編成のチームではなく、別々の組の方とのチーム編成にしま



した。大会は好プレー珍プレーが続出して、明るく楽しく和んだ中で進められ、激戦を勝ち抜き決勝に進んで来たのは塩沢会長率いる塩沢、齊藤(良)、池田チームと助人チームの石川(参)、小山、島津法衣店チームの対戦となりました。結果は、互いに譲らずの好ゲームの末、塩沢会長チームが優勝致しました。

平成9年度の事業計画でも写仏会&ソフトバレーボール大会が計画されており、是非沢山の会員にお集まり頂き、写仏を体験し、ソフトバレーボールで親睦を深めて頂きたいと思えます。

●会長コメント  
ディフェンディングチャンピオンだぞ。



## 平成9年度 神淨青定期総会

平成9年度神淨青定期総会が、去る4月17日に鎌倉大本山光明寺を会場に開かれた。

総会に先立って、回願並に神淨青物故者の回向を塩沢会長を導師として大殿にて行い、場所を食堂に移して総会を始めた。

まず十念を唱え、杉浦副会長による開会宣言の後、塩沢会長の挨拶があった。続いて議長選出に移り、港北組の石川和弘上人が任命された。

総会成立の確認としては、出席者が27名、委任状が60通有り、会員122名中87名の参加が認められ、過半数に達した為、総会成立、すぐに本題に入った。

平成8年度事業報告、会計決算報告がそれぞれ詳細に述べられ、質疑応答の後、拍手にて承認された。

続いて平成9年度事業計画案、会計予算案の説明があり、こちらも質疑応答の後、問題なく承認された。

最後に例年通り加行成満者(淨青資格者)の紹介があり、大本山光明寺戸松啓真御法主の御染筆の色紙が授与される予定だったが、あいにく出席がなかった為、塩沢会長より各組会長が代理で受け取った。

最後も十念にて閉会、解散となった。

伝宗伝戒成満者(増上寺道場)

高座組 蓮光寺 安藤尚人

中郡組 南蓮寺 福田雅宏

小田原組 春光院 石川琢道

今回の加行成満者は3名と少ないが、これからの淨青活動を我々として取り合せて、その若い力で盛り上げて頂きたい。

本年度の総会の出席者も122名中27名(各組理事、執行部がほとんど)と大変少なく、一般会員は4~5人と非常に残念な数だった。淨青会員となつて居るのだから、総会に出席し意見や質問等を活発に出し、自己啓発に臨むと共に他の淨青活動に於いても、積極的に参加してほしい!!



# 第15回 神浄青ソフトボール大会 IN KAWASAKI STADIUM

来る10月上旬、日本一の人工芝であなともグラウンドのヒーローに!!



加藤 2次会・3次会は俺がしきるぜ!!

陣川 ガラムはうまい

佐々木 お待ちしています。ブツブツブツブツブツッ

## 編集後記

大谷 ねえねえ相馬くん、僕達仕事  
したっけ?

相馬 うーん、そうだなー。編集委  
員長の夏見さんにおんぶにだっ  
こで、俺達何にもしてないでし  
よう。でもとりあえず写真だけ  
は撮ってたけどね。大谷なんか  
した?

大谷 うーん、そうだねー。とりあ  
えずは、マスの数かぞえたよ。  
でも、長谷川さんはどう?

長谷川 俺にふるなよ。俺だつて水  
谷さんとがんばってるんだよ。  
ね、水谷さん

水谷 まあそんな事より、最近関内  
行ってる?

夏見 うーん、それはともかく君達  
便所の氷溶かした事ある?

全員 オイオイ。



ご協力ありがとうございました